

## II 診療実績

### 1. 内科

糖尿病・代謝内科部長 河邊 聡子

疾病・術式・検査名 (2021)

単位：件

#### 透析センター

新規血液透析導入患者数	31名
糖尿病性腎症	0名
急性血液浄化療法施行	
持続血液濾過 (CHF)	0回
持続血液透析 (CHD)	0回
持続血液濾過透析 (CHDF)	117回
血液透析 (HD)	16,612回
転入血液透析患者数	9名
転出血液透析患者数	14名
腎移植施行血液透析患者数	0名
内シャント関連手術件数	96件
内シャントPTA(経皮的血管拡張術)	81件

#### 代謝・内分泌領域

糖尿病教育入院	165
---------	-----

#### 循環器内科領域

心臓MRI	150
冠動脈CT	168
冠動脈MRA	151
心臓カテーテル検査	259
経皮的冠動脈形成術	159
経皮的末梢動脈形成術	-
恒久的ペースメーカー植込術	11
ジェネレーター交換	8
急性心筋梗塞	141

疾病・術式・検査名 (2021)

単位：件

**循環器内科領域**

心臓MR I	150
冠動脈C T	168
冠動脈MR A	151
心臓カテーテル検査	259
経皮的冠動脈形成術	159
経皮的末梢動脈形成術	-
恒久的ペースメーカー植込術	11
ジェネレーター交換	8
急性心筋梗塞	141

**消化器内科領域**

C型肝炎-肝硬変に対する経口ウイルス治療薬投与	5
B型肝炎-肝硬変に対する経口ウイルス治療薬投与	95
肝癌に対する肝動脈塞栓術（動注化学療法を含む）	0
消化器癌（肝癌以外）化学療法	74

**血液内科領域（新規入院患者のみ 重複は除く）**

悪性リンパ腫	70
骨髄異型性症候群	27
多発性骨髄腫	31
急性骨髄性白血病	43
急性リンパ性白血病	0
自己免疫性溶血性貧血	4
特発性血小板減少性紫斑病	11
慢性骨髄性白血病	2
その他骨髄増殖性腫瘍	0
血栓性血小板減少性紫斑病	0
発作性夜間血色素尿症	0
原発性マクログロブリン血症	0
その他血液疾患	16

## 2. 総合外科・消化器外科

外科部長 野口 岳春

2021年1月から12月の手術症例数は313例でした。前年が298例であり手術症例数は15例の増加となっています。前年も28例増加しています。

腹腔鏡治療は116例で1/3以上を腹腔鏡手術で行っています。

乳腺甲状腺疾患は27症例手術を施行しており、非常勤医師の八代先生、堀内先生は変わらず勤務し応援して頂いています。

疾病・術式・検査 (2021)

単位：件

胃、十二指腸		24
胃癌	幽門側胃切除	7
胃癌	噴門側胃切除	2
胃癌	胃全摘術	7
胃癌	残胃全摘術	1
胃癌	腹腔鏡下幽門側胃切除	1
胃癌	腹腔鏡下幽門保存胃切除	1
胃癌	審査腹腔鏡	1
胃癌	胃-空腸バイパス術	2
胃癌	回腸人工肛門造設術	1
十二指腸潰瘍穿孔 穿孔部閉鎖大網被覆術		1
小腸		16
腸閉塞	腹腔鏡下イレウス解除術	3
腸閉塞	イレウス解除術（腸管切除なし）	2
腸閉塞	イレウス解除術（腸管切除あり）	4
小腸癌	腹腔鏡下回盲部切除術	1
小腸腫瘍	腹腔鏡下小腸部分切除	1
回腸人口肛門造設後	人工肛門閉鎖術	3
小腸壊死	小腸切除＋結腸切除	1
術後出血	止血術	1

疾病・術式・検査 (2021)

単位：件

<b>虫垂</b>		<b>26</b>
急性虫垂炎	腹腔鏡下虫垂切除術	20
急性虫垂炎	開腹虫垂切除術	4
急性虫垂炎	腹腔鏡下回盲部切除術	1
急性虫垂炎	回盲部切除術	1
<b>大腸</b>		<b>48</b>
結腸癌	開腹結腸切除	12
結腸癌	腹腔鏡補助下結腸切除	19
結腸癌	腹腔鏡下人工肛門造設術	4
結腸癌	回腸-横行結腸バイパス術	1
直腸癌	開腹直腸切除	3
直腸癌	腹腔鏡補助下直腸切除	2
直腸腫瘍	経肛門腫瘍切除	1
良性大腸穿孔	結腸切除術	2
結腸人工肛門造設後	人工肛門閉鎖術	1
腹腔内出血	開腹結腸切除	1
直腸狭窄	腹腔鏡下人工肛門造設術	1
術後縫合不全	腹腔鏡下回腸人工肛門造設術	1
<b>胆嚢</b>		<b>64</b>
胆嚢結石症（胆嚢炎）	腹腔鏡下胆嚢摘出術	53
胆嚢結石症（胆嚢炎）	開腹胆嚢摘出術	10
総胆管結石	総胆管切開採石術	1
<b>肝臓</b>		<b>2</b>
肝細胞癌	肝外側区域切除	1
転移性肝癌	肝外側区域切除、肝部分切除	1

疾病・術式・検査 (2021)

単位：件

<b>膵、胆管</b>		<b>5</b>
膵臓癌	膵頭十二指腸切除術	1
膵臓癌	膵体尾部切除術	1
膵臓癌	胃-空腸バイパス術	1
膵臓癌	腹腔鏡下胃-空腸バイパス術	1
胆嚢癌	胆嚢摘出術（肝床部切除）	1
<b>ヘルニア</b>		<b>60</b>
鼠経ヘルニア	前方アプローチによる根治術	46
鼠経ヘルニア	腹腔鏡による根治術	4
大腿ヘルニア	根治術	2
腹壁癒痕ヘルニア	開腹根治術	5
臍ヘルニア	根治術	2
閉鎖孔ヘルニア	小腸切除術	1
<b>肛門</b>		<b>9</b>
痔核	結紮切除術	8
痔瘻	根治術	1

疾病・術式・検査 (2021)

単位：件

<b>乳腺</b>	<b>11</b>
乳癌 乳房切除+リンパ節郭清	6
乳癌 乳腺部分切除+リンパ節郭清	4
術後出血 止血術	1
<b>甲状腺</b>	<b>16</b>
甲状腺腫瘍 全摘術、亜全摘術	5
甲状腺腫瘍 右または左葉切除術	9
甲状腺機能亢進症 摘出術	1
術後出血 止血術	1
<b>体表</b>	<b>25</b>
リンパ節腫脹 リンパ節生検	17
皮下埋め込み型カテーテル挿入	7
胃癌術後皮膚転移 腫瘍切除	1
<b>その他</b>	<b>7</b>
腹腔内リンパ節摘出	2
腸間膜腫瘍 腹腔鏡下腸間膜腫瘍切除	1
異物誤飲 腸管内異物摘出	1
腹腔内異物迷入 腹腔鏡下異物摘出術	1
SMA 症候群 胃-空腸バイパス術	1
呼吸不全 気管切開	1
<b>合 計</b>	<b>313</b>

### 3. 小児科

小児科部長 稲見 由紀子

小児科では2021年は、外来診療を中心に、一般診療と専門診療（小児腎臓、小児循環器、小児心理、小児免疫、小児神経）の連携を取りながら診療を行いました。

今年も新型コロナの流行が続き、繰り返す休校や環境の変化がこどもに及ぼす影響は大変大きく、運動不足や、生活リズムの乱れ、肥満の増加、精神的な問題、虐待が気づかれにくい環境、こどもの安全に関する問題など、数々の問題が目に見えて増えていることを日常診療の中でも認識せざるを得ない状況となっています。

小児科の急性呼吸器感染症で昨年は全く発生が無かったRSウイルス感染症は季節外れの春から夏にかけて全国的に大きな流行が見られました。インフルエンザは昨年に引き続き極端に発生していない状況が全国的に持続しています。

予防接種、乳児検診については適切な時期に受けることの重要性を自治体と連携しながら保護者に伝えていきます。市の集団乳児検診も今年は新型コロナの流行中も休止することなく継続し、当院からも担当医が保健センターに出張で参加する形で協力しました。

定期予防接種では、供給が不安定なワクチンが数種あったため、予約スケジュールの案内が難しい局面が多々ありました。確実に安定した供給が望まれます。また定期接種でありながら勧奨が長期にわたって控えられていた子宮頸がん（ヒトパピローマウイルス）ワクチンは、徐々に接種者数が増加しており、定期接種としての勧奨も2022年4月から再開されます。また、自費接種ではありますが9価ヒトパピローマワクチンも国内接種が可能となり、当院でも扱いを開始しました。諸外国に遅れつつも徐々に体制は整ってきていますが、ワクチンに対する正しい理解と副反応の考え方について、更に啓蒙が必要とされています。

新型コロナ感染症については、12月以降小児での陽性例も著増し、検査、発熱外来の受診数が増えています。予防策が徹底しにくい就学前児童の集団での流行とそこからの家庭内感染が目立ちます。県内病院間の連携カンファレンスにて情報共有、問題解決法を探りつつ対応しました。幸い小児は重症化リスクが低く、全国的にも小児において新型コロナ感染症による死亡例は今のところ

発生しておりません。一方で基礎疾患のある児における重症化、乳児でのクループ、哺乳不良等により入院が必要な例は散見されており、引き続き慎重に経過を追う必要があります。そして特にこどもに対しては感染者が発生した場合の過剰な対応、差別などに特段の注意が払う必要があります。国としても集団発生時以外は教育活動を止めることなく継続していく方針に切り替わり、各自自治体が流行状況に応じて柔軟な対応をとるようになってきています。

こどもに対する新型コロナワクチンは8月から12歳以上の小児に実施、この後5～11歳については基礎疾患のある児を優先に開始されます。接種協力機関として市と連携を取って対応しております。

2019年に導入した電話再診も有効に機能しています。

以上、新型コロナ感染症の影響は大きい状況の中、こどもの心と体の安全を守るために必要なことに注力し、感染防御策を徹底しながらも、小児に対してより良い医療環境を提供することに努めました。

#### 予 防 接 種 (2021)

単位：件

BCG	32
B型肝炎	97
アクトヒブR（インフルエンザ桿菌）	101
ムンプス（流行性耳下腺炎：おたふく風邪）	59
水痘（水ぼうそう）	54
MR（麻疹、風疹）	91
インフルエンザ	1223
二種混合	58
三種混合	0
日本脳炎	108
子宮頸がん	70
肺炎球菌	123
<b>合 計</b>	<b>2,016</b>
<b>乳児健診</b>	<b>63</b>



#### 4. 内視鏡科

術式・検査 (2021)

単位：件

内視鏡	上部消化管（人間ドックを含む）	2,605
内視鏡	下部消化管（人間ドックを含む）	726
内視鏡	膵胆管造影（内視鏡的十二指腸乳頭切開術を含む）	33
	経皮的内視鏡的胃瘻造設術	19
合 計		3,383

## 5. 脳神経外科

脳神経外科部長 松岡 剛

術式・検査 (2021)

単位：件

脳腫瘍	開頭摘出術	11
脳血管障害	破裂脳動脈瘤	11
	未破裂脳動脈瘤	6
	頸部内頸動脈ステント留置術	7
	脳動静脈奇形	0
	高血圧性脳内出血	2
	血栓回収術	2
外傷	急性硬膜外血腫	5
	急性硬膜下血腫	8
	慢性硬膜下血腫	26
水頭症	脳室シャント術	19
その他		47
合 計		144

## 6. 整形外科

副院長 梅原 新英

### 術式 (2021)

単位：件

#### 外傷

四肢・骨盤骨折	骨折観血の手術、関節内骨折観血の手術	221
四肢・骨盤骨折	人工骨頭挿入術	53
偽関節手術		1
関節脱臼	観血的整復術	12
関節脱臼	非観血的整復術	55
開放骨折・挫創など	デブリードマン、縫合	18
腱断裂（アキレス腱断裂含む）	腱縫合術、腱移行術	16
	小計	376

#### 関節手術

膝半月板損傷	半月板切除術・縫合術（関節鏡視下）	16
関節内遊離体（膝、肘、足関節）	関節鼠摘出術（関節鏡視下）	1
膝関節炎など	滑膜切除術（関節鏡視下）、化膿性関節炎清掃術	0
肩腱板断裂手術（関節鏡視下）		7
変形性股関節症	人工股関節置換術、再置換術	34
リウマチ性膝関節症	人工股関節置換術、再置換術	0
変形性膝関節症	人工膝関節置換術、再置換術	19
変形性膝関節症	高位脛骨骨切り術	3
	小計	80

## 術式 (2021)

単位：件

## 脊椎手術

頰椎症性脊髄症、頰椎椎間板ヘルニア、頰髄損傷など	椎弓形成術	6
環軸椎脱臼・骨折	体外式脊椎固定術	0
腰部脊柱管狭窄症	椎弓切除術	6
腰部脊柱管狭窄症、腰椎分離こり症など	脊椎固定術	19
腰椎椎間板ヘルニア	椎間板切除術（鏡視下含む）	4
椎体骨折・偽関節	経皮的椎体形成術	0
	小計	35

## その他

骨腫瘍	切除術	1
軟部腫瘍、ガングリオン、滑液包	摘出術	2
ばね指、ドゥケルバン病	腱鞘切開術	30
肘部管症候群	神経移行術	0
手根管症候群	手根管開放術	10
閉塞性動脈硬化症、糖尿病性壊疽など	切断術、断端形成術	0
骨折手術後など	骨内異物除去術	73
その他		109
	小計	224

## 合 計

715

## 7. 形成外科

形成外科医長 平野 由美

前年よりも手術は回復してきています。

### 術式・検査 (2021)

単位：件

皮膚，皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径 2 cm未満）	88
皮膚，皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径 2 cm以上， 4 cm未満）	11
皮膚，皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径 4 cm以上）	9
皮膚，皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 3 cm未満）	34
皮膚，皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 3 cm以上， 6 cm未満）	9
皮膚，皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 6 cm以上， 12 cm未満）	7
皮膚，皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 12 cm以上）	2
皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術（露出部）	8
皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術（露出部以外）	2
皮膚悪性腫瘍切除術（単純切除）	14
瘢痕拘縮形成手術（顔面）	1
瘢痕拘縮形成手術（その他）	3
鼻骨骨折整復固定術	10
頬骨骨折観血的整復固定術	2
皮弁作成術・移動術・切断術・遷延皮弁術	6
全層植皮術	3
分層植皮術	3
眼瞼内反症手術（逆さまつげ）	1
眼瞼下垂症手術（眼瞼挙筋前転法）	9
眼瞼下垂症手術（その他のもの）	1
四肢・軀幹軟部腫瘍摘出術	11

術式・検査 (2021)

単位：件

ガングリオン摘出術（粘液嚢腫、ヒグローム含む）	12
臍ヘルニア	1
耳介腫瘍摘出術	8
副耳切除術	1
陥入爪手術	9
リンパ管腫摘出術	1
入院局所陰圧閉鎖処置	7
動脈（皮）弁術、筋（皮）弁術	5
腱縫合術	2
その他	18
<b>合 計</b>	<b>298</b>

## 8. 泌尿器科

泌尿器科医長 黄 鼎文

術式・検査名 (2021)

単位：件

前立腺針生検	61
経尿道的膀胱腫瘍切除 (TUR-Bt)	19
経尿道的前立腺切除 (TUR-P)	5
経皮的腎瘻造設術	2
経皮的膀胱瘻造設術	3
陰嚢水腫根治術	1
腹腔鏡下膀胱脱手術 (LSC)	5
尿失禁手術 (TVT スリング)	4
その他	55
合 計	155

## 9. 皮膚科

皮膚科医長 永江 美香子  
萩原 佐恵子

当院皮膚科では、常勤医師2名、非常勤医師1名で、午前中2診（2022年4月より土曜日は1診）で診療を行っています。皮膚科一般診療を中心に、帯状疱疹など比較的軽症患者の入院を受け入れています。

デュピクセント、ゾレア、腋窩多汗症ボトックス、SADBE治療、エピペン処方が可能です。

生物学的製剤・JAK阻害薬については筑波大、東京医大茨城医療センターとの連携、導入、維持投与を行っています。

パッチテスト用試薬として、金属パッチテスト用試薬15種（水銀はなし）、パッチテストパネルSがございます。

紫外線照射機器はございません。

自費診療として、帯状疱疹生ワクチンおよびシングリックス、脱毛レーザー治療（Gentle Lase）、ピアッシング（耳垂のみ）、20%塩化アルミニウム液、ハイドロキノン軟膏、グラッシュビスタ（まつげ美容液）院内処方、男性型脱毛プロペシア、ザガーロ院外処方が可能です。

### 術式・検査（2021）

単位：件

レーザー脱毛	10
皮膚生検	54
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm未満）	38
皮膚切開術（長径10cm未満）	84
合 計	186



## 10. 眼科

眼科医長 矢部 美香子

外来にて眼科疾患全般を診ています。現在常勤医1名体制となっております。手術については白内障手術、外眼部手術、および外来網膜レーザー手術などを行っております。月曜は常勤医と筑波大非常勤医師との2診体制で診療を行っております。COVID-19の影響も多くあった1年ではありましたが、感染対策を十分に行い診療して参りました。地域の方々へスムーズで安全な医療を提供できるよう心がけていきたいと思っております。眼科は他科との関連疾患も多くあり、眼科受診で今まで指摘されなかった、新たな疾患が見つかることも多いです。関連病院とも連携させていただき、地域医療の役に立てるよう出来るだけ精進していきたいと思っております。

### 疾患および術式 (2021)

単位：件

白内障：水晶体再建術	45
眼瞼腫瘤切除	3
結膜嚢胞切除	1
麦粒腫 霰粒摘出術 その他	3
眼瞼内反症手術	1
合 計	53

## 1 1 . 歯科口腔外科

歯科口腔外科部長 河地 誉

当院歯科口腔外科は、常勤医 3 名、非常勤医 1 名、常勤歯科衛生士 3 名の体制で、口腔外科・口腔内科疾患を中心に診察を行っています。また、院内連携として、当院で治療(手術、抗癌剤治療など)を行う患者さんの口腔機能管理を維持し、口腔ケアに介入しています。

昨今の新型コロナウイルス感染症は、口腔内に対する処置はリスクが高いと考えられていたため、不要不急の処置を延期とし、診療を一部制限せざるを得ませんでした。処置時には、院内感染対策マニュアルに準拠した対策を講じ、感染対策に留意しました。

2021 年 10 月には、(公社)日本口腔外科学会「准研修施設」認定を受けました。当科には、日本口腔外科学会指導医、認定医が在籍しており、茨城県南部の基幹病院として求められる機能や水準の向上に努めてまいります。

単位：件

[1] 全身麻酔における手術	計 119
歯・歯槽外科手術	(内訳) 84
顎堤形成術	2
消炎手術	2
良性腫瘍・嚢胞・腫瘤形成疾患等の手術	18
唾液腺関連手術	4
上顎洞関連手術	1
顎顔面外傷手術 / 異物除去手術	5
癌 / 前癌病変手術	3
[2] 短期入院症例	計 70
抜歯術	(内訳) 67
その他	3
[3] 周術期口腔機能管理	計 165
外科、整形外科、内科からの依頼など	
[4] 外来総初診患者数	計 1888

## 12. 耳鼻咽喉科

術式・検査 (2021)

単位：件

扁桃周囲膿瘍切開術	3
鼓膜切開術	39
鼻内異物摘出術	0
鼻中隔矯正術	1
鼻甲介切除術	1
咽頭異物摘出術	11
扁桃摘出術	0
副鼻腔手術	63
鼓室形成術	0
頸部手術	0
その他	46
合 計	164

### 13. 麻醉科

麻醉科部長 古謝 宏樹

術式・検査 (2021)

単位：件

<b>全身麻酔症例</b>	
外科	266
整形外科	501
口腔外科	117
脳神経外科	96
救急科	21
形成外科	79
耳鼻咽喉科	22
内分泌科	16
泌尿器科	106
<b>静脈麻酔症例</b>	
救急科	-
整形外科	-
形成外科	-
<b>脊髄クモ膜下麻酔症例</b>	
泌尿器科	36
形成外科	-
整形外科	2
外科	5
<b>脊髄クモ膜下硬膜外併用麻酔症例</b>	
整形外科	-
外科	-
<b>伝達麻酔症例</b>	
整形外科	-
形成外科	-
合 計	1267

## 14. 放射線科

放射線科部長兼常仁会グループ読影センター長 山添 真治

放射線科は2022年1月から常勤医3名、水曜日及び土曜日に非常勤医1名ずつの体制となりました。主な業務はCTやMRI、X-rayなどの読影で、基本的には依頼のあったものを読影させて頂いております。常勤医が増えたことでより円滑に読影を行っていただけるように努めてまいります。また、CT、MRIに関しましては読影依頼のないものも出来る限り目を通せるようにしていきたいと思っております。

撮影の方法は基本的には決まったものを撮影していきますが、ご相談頂いた症例に関しましては必要に応じて追加撮像を行えるようにし、院内の他科との連携を強めていけるように努めてまいります。

CT、MRI装置ともに高水準の機器を備えておりますので、院外から依頼の撮影にも丁寧に対応し、画像診断を通して地域医療と連携を深めていきたいと思っております。

私が赴任したことにより、当院でもIVRが可能となりました。胸部・腹部・四肢の血管内治療や画像ガイド下の生検やドレナージなど、他科との連携を強くして院内で治療の出来る幅を増やせていけたらと考えています。

### 術式・検査 (2021)

	(件)
<b>診療業務</b>	
下肢静脈瘤血管内焼灼、塞栓術	36
経皮的シャント拡張、血栓除去術	23
<b>合 計</b>	<b>59</b>
<b>読影業務</b>	
一般撮影	303
X線透視	24
CT	14,423
MRI	7,350
マンモグラフィー	2,443
<b>合 計</b>	<b>24,543</b>

## 15. 救急医療科

救急医療科部長兼救急・外傷センター長 佐藤 孝幸

集中治療部長 出口 善純

後期救急専攻医 明比 美典

(2021年4月～9月)

桶屋 こむぎ

(2021年10月～)

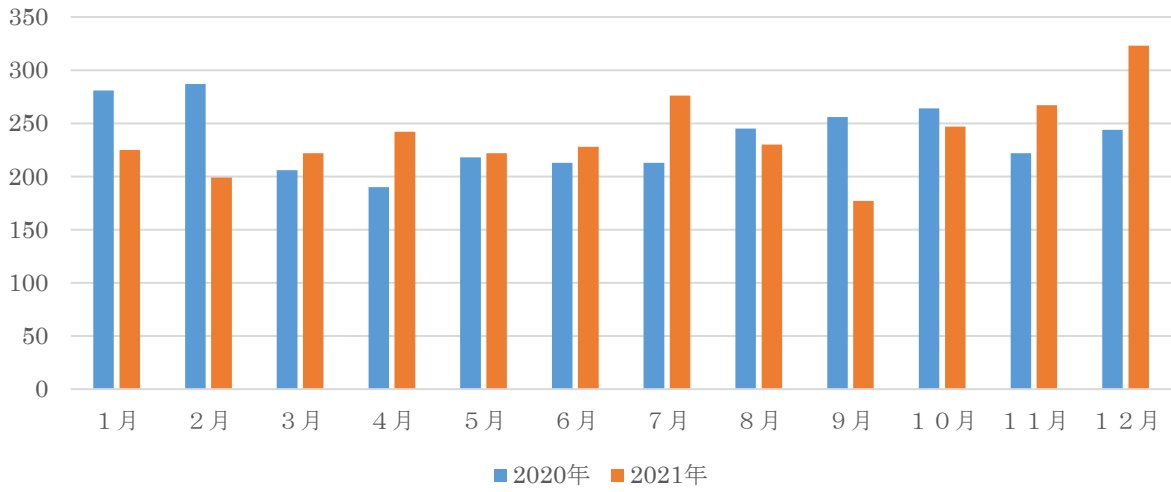
救急医療科は2019年5月に開設され、以降救急専門医を含む5名（常勤医2名）にて、地域救急医療の発展に尽力してまいりました。2021年4月より筑波大学より後期救急専攻医の派遣により、救急医療体制の拡充を図ることが出来ました。2019年度は3,304台と過去最高の救急搬送数に至りましたが、2020年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響から不要不急の地域救急要請患者数が減り、2021年度は計2,858台と2020年度と比較し、ほぼ横ばいではありますが、2019年度と比較すれば搬送数の減少となっております。しかしながら、重症疾患搬送患者は依然として多く、搬送後、緊急入院となる患者は1,347人（47.1%）と約半数を占めております。年齢別には65歳以上の高齢者の搬送が大半を占め、80歳を越える超高齢者の搬送も目立っております。疾患別では、事故、外傷などの外因性疾患に比べ、引き続き内因性疾患が優位となっております。

当科での2021年度の手術件数は26件で、気胸手術、肋骨骨折に対する観血的手術をはじめ、腹部手術、緊急外傷手術に至るまで多岐にわたっております。

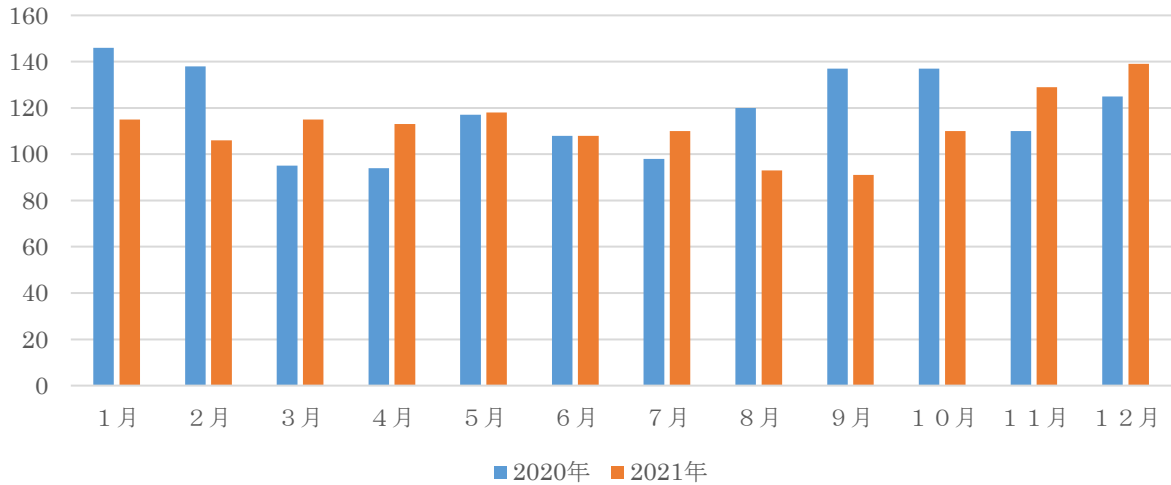
2020年9月には災害拠点病院の認可があり、日本DMAT指定病院として、地域災害医療の中心をなすべく益々活動の場を広げております。また、引き続き、稲敷広域消防における教育施設として、救急救命士の教育、レベルアップにも努めております。

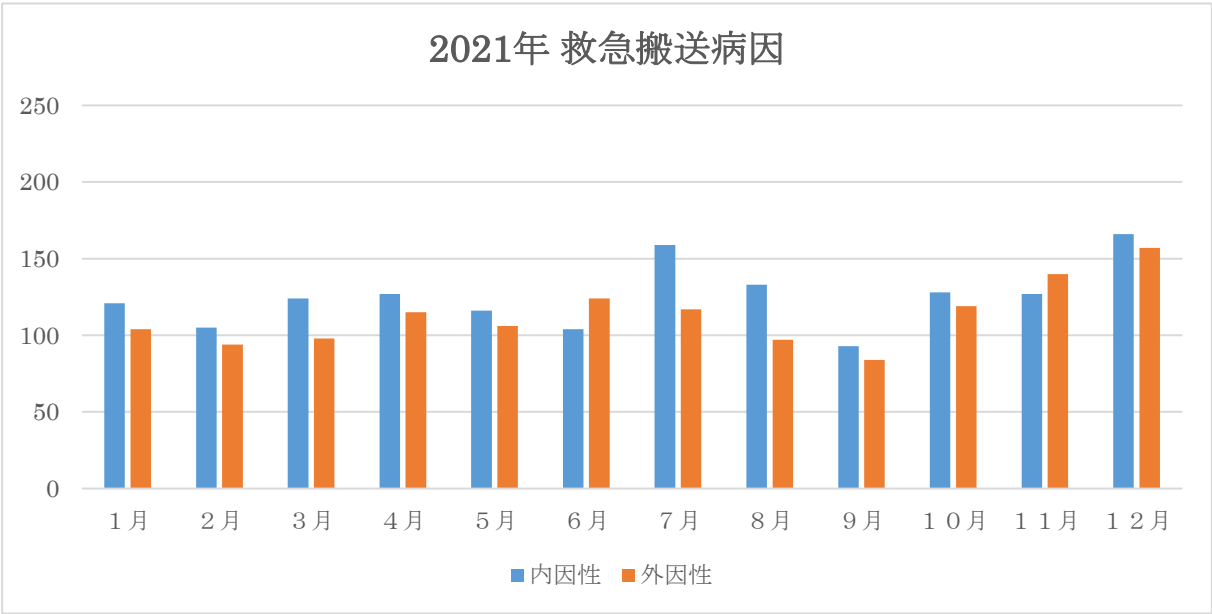
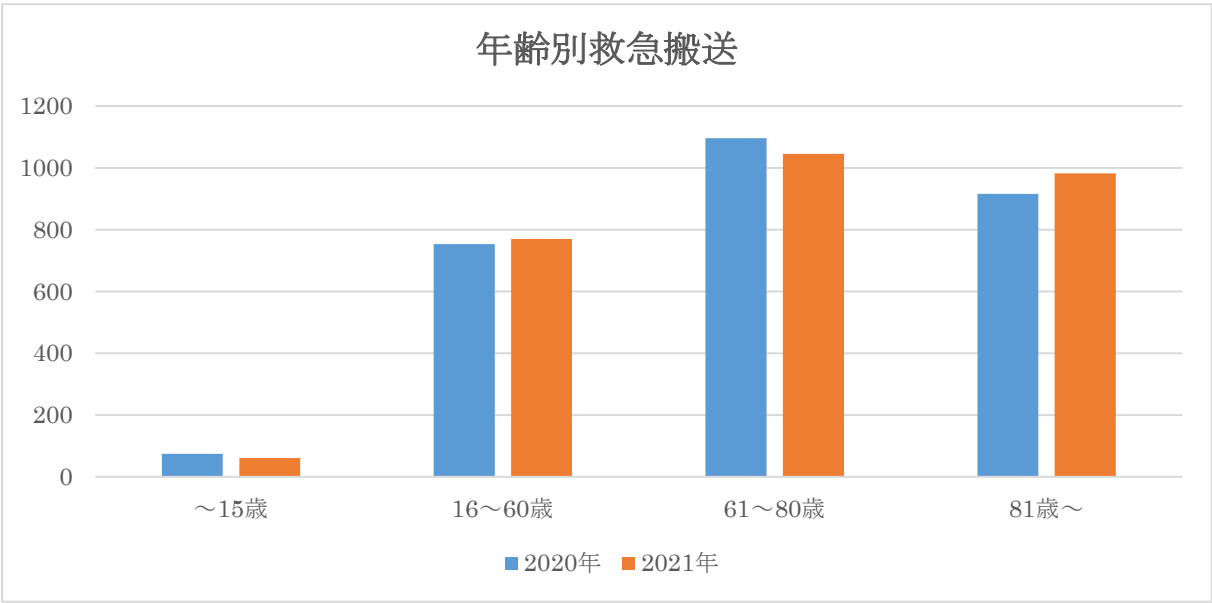
さらに2022年度中には稲敷広域消防本部との協力の下、ドクターカー事業を始めとした病院前救急の実践を予定しており、地域住民の期待に応えるべく、救命率の向上を目指し、益々充実した救急医療の提供が可能になると考えております。

救急車受入台数（総数2,858台）



救急車受入入院件数（総数1,347人）







## 手術術式 (2021)

単位：件

観血的整復固定術	7
気胸手術	4
気管切開術	6
汎発性腹膜炎手術	2
腹腔鏡下胆嚢摘出術	1
結腸・小腸切除（外傷による）	1
肛門形成手術	1
人工肛門閉鎖術	1
異物除去術	1
切開排膿術	1
鼠径ヘルニア手術	1
合 計	26



救急センター前にて



2021年10月24日茨城DMAT SCU訓練（百里基地）にて



2021年12月2日日本DMAT実機訓練（相馬原駐屯地）にて